

令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

全国体力・運動能力、運動習慣等調査は、小学校5年生、中学校2年生を対象に、実技調査（新体力テスト）や、質問紙調査を行い、体力の状況を把握・分析し、子どもの体力向上に向け、学校における体育・健康に関する指導に役立てること等を目的として毎年実施されているものです。国や県全体の結果と本校の状況を比較することで今後の取組の参考とすることができます。

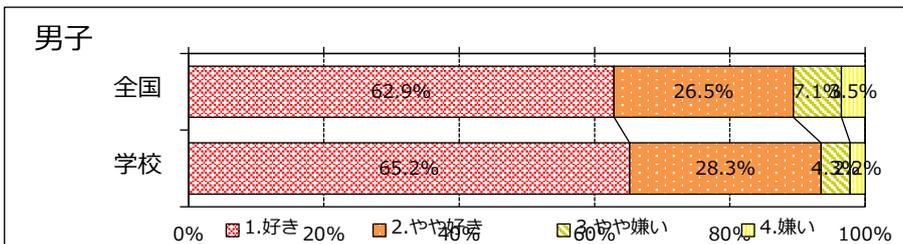
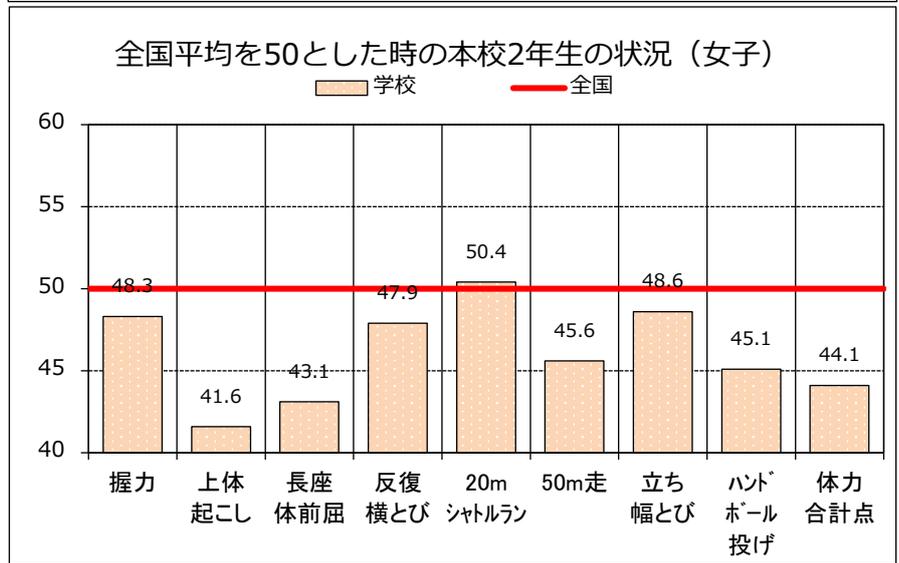
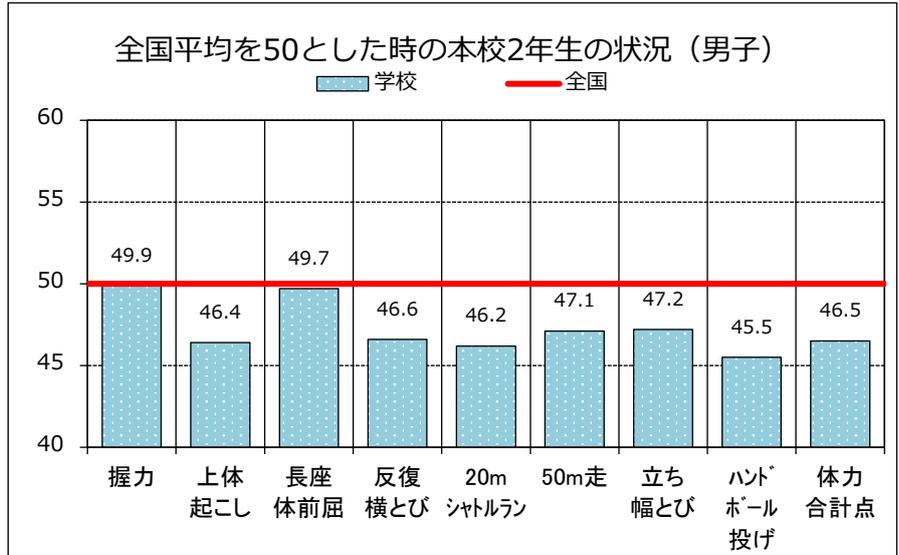
右のグラフは、全国平均を50とした時の本校の生徒の各種目の状況です。全国平均を上回る種目、それに近いものもありますが、全体的に全国に比べ低調な状況です。

ただ、1年時に実施した新体力テストと比較すると、握力では男子の平均値が22.77→28.62 (+5.85kg)、20mシャトルランでは男子：

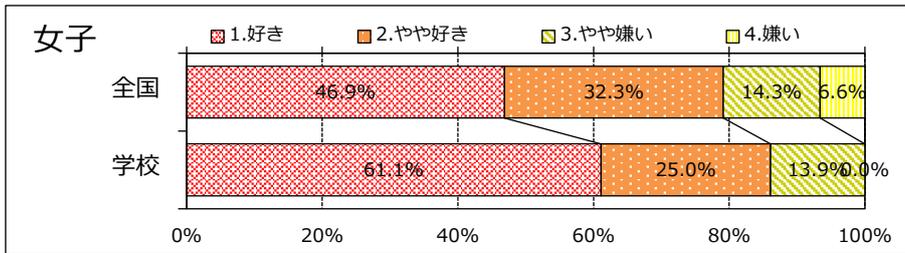
59.36→74.21 (+14.85回)、女子：47.31→59.03 (+11.72回)、立ち幅跳びでは男子：174.57→187.00 (+12.43cm)、女子：155.86→166.53 (+10.67cm)と大幅に記録を伸ばすなど、ほぼ全種目において体力・運動能力の向上が見られました。

引き続き、体育の授業や部活動等を通して、子どもたちの体力・運動能力の向上を目指していきたいと思えます。

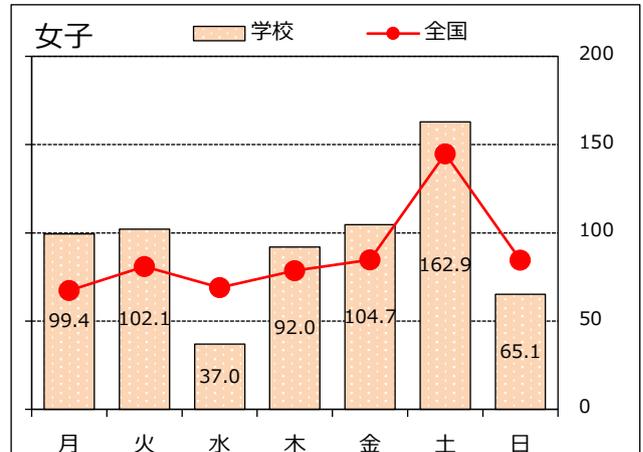
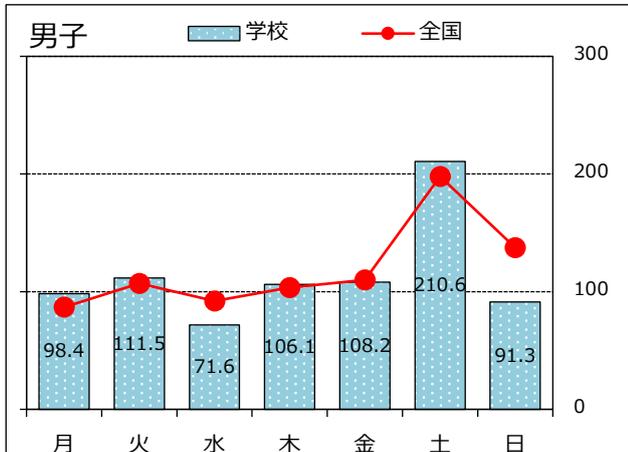
また、今回の調査では、運動習慣等についても質問紙調査を行っており、結果の一部を紹介させていただきます。



左のグラフは、「運動やスポーツをすることが好きですか。」という問いについての回答状況です。



下のグラフは、「ふだんの1週間について、体育の授業以外で、運動やスポーツを1日どのくらいの時間していますか。」についての回答状況です。



また、体育の授業については、「楽しい」、「やや楽しい」と肯定的に回答した生徒が男子：91.5%（全国に比べ+2.1%）、女子：86.1%（+2.5%）となっており、特に「体育の授業では、友達と助け合ったり、役割を果たすような活動を行っていますか。」という問いでは、肯定的に答えた生徒が男子：97.9%（+8.4%）、女子：100%（+7.1%）となっています。

その他、本校の生徒について、全国に比べ、毎朝朝食を食べる生徒の割合が高い、平日、長時間（4時間以上）テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ている生徒の割合が低い、「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。」と答えた生徒の割合が高いといった状況が見られました。

体力・運動能力の向上は、生涯にわたる健康の維持・増進や、自立した活動的な生活につながります。引き続き、生徒一人ひとりの状況に応じた運動習慣や生活習慣の改善、体力・運動能力の向上に向けた取り組みを進めていきたいと考えています。

愚者は経験に学び、賢者は〇〇に学ぶ (R2.1.30 (木) 中日新聞より)

見出しの「〇〇に学ぶ」の答えが記事の中にあります。

中日春秋

史上もつとも悪質なつそといわれる言葉がある。「労働すれば自由になる」。アウシュビッツ強制収容所の門に書かれた有名な標語だ。門をくぐるユダヤ人らを待っていたのは自由ではもちろんない。「歴史は最良の教師」といわれるが、学ぶべきものの尽きない負の歴史の現場であろう▼虐殺の場となった収容所が解放されて七十五年となった。ポーランド南部のその収容所で先日犠牲者追悼の式典があった。九十三歳の生還者マリアン・トゥルスキさんが登壇した模様を欧州メディアが動画で報じている。歴史から学んでほしいという強い思いが伝わってくる▼トゥルスキさんはベルリンでの少年時代を振り返った。ユダヤ人はこのベンチを使うなどという掲示がある日登場したという。よそにすわればいと受け流している、このプールに入るな、ドイツ人とは遊ぶなどと続いた▼小さなことのように思えたが、気付けば、それを排除してもいいという考えが広がっていた。「無関心でいると、ある日またアウシュビッツが空から落ちてくる」と締めくくった。「歴史的なつそに無関心でないでほしい」とも。現代の空気に似たものを感じているのではないか▼五年後の式典は見られなだろうと言った。かつて生還した数千人が参加していたが、今回は約二百人という▼細くなっている声は、忘れてはならない声である。

2020.1.30

自分（たち）と異なる誰かを排除、攻撃しようとする今の社会の風潮を、「現代の空気に似たものを感じているのではないか。」と話されたのではないのでしょうか。新型コロナウイルスの感染者への対応にも、私たちの人権感覚が問われる場面があるかも知りませぬ、うわさやデマに惑わされず、正しい情報をもとに、自分自身で考え判断することが大切だと思います。「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」とは、自分自身が痛い思いをして初めて気づく（学ぶ）のではなく、失敗の歴史、他者の失敗から学ぶ、それが賢者であるということです。